

2013年3月14日

## 新教皇フランシスコの選出にあたって

3月13日、全世界のカトリック教会を導くために、アルゼンチン出身のホルヘ・マリオ・ベルゴリオ枢機卿が新しく第266代教皇に選出されました。  
新教皇はフランシスコと名乗られます。

カトリック教会は、第2バチカン公会議（1962年～1965年）開幕から50年を機に、昨年10月より1年間を「信仰年」と定めた前教皇ベネディクト十六世の意向に従い、公会議の精神に生きるように努めています。同公会議は、教会の現代化、世界の苦しむ人々との連帯、他宗教やキリスト教各派への敬意と対話を打ち出しました。また、「自分の懐に罪人を抱いている教会は、聖であると同時につねに清められるべきであり、悔い改めと刷新との努力を絶えず続ける」（教会憲章8条）と宣言して、教会は常に回心する必要があると表明しました。教皇フランシスコと共に、わたしたちはまず教会の刷新のために努力しなければならないと思います。

また、カトリック教会は、現代世界のさまざまな問題を解決するために関わっていかなくてはならないと自覚しています。たとえば、さらに深刻さを増した経済格差の是正。貧しい人、子ども、難民、女性の権利の擁護。受胎から自然死に至るまでのいのちを守ること。各地の戦争や紛争の中で、正義と人権、平和を実現するために献身すること。信教の自由の保証と宗教間の対話。宗教を理由にした暴力の根絶。原発などのエネルギー問題の解決と環境保護への努力。医療を受けられない人々への対応・保健活動。そして、移住者への奉仕などです。わたしたちカトリック教会は、国際レベルでも、国内レベルでも、すべての国、国連、国際機関、そしてすべての善意の人々との協力のうちに、これらの課題と取り組んでいこうとしています。教皇フランシスコは全教会の賢明かつ力強い牧者としてわたしたちの働きを導き支え助けてくださることと確信します。

前教皇ベネディクト十六世の在任中に皆さまからいただきましたご厚意と、辞任を表明して以来、新教皇の選出に至るまで、教会に大きな関心を寄せてくださったことに感謝いたしております。そして、新教皇とともに始めるカトリック教会の新たな歩みに、これまでと変わることはないお力添えをいただきますよう心からお願いいたします。

神の祝福が皆様一人ひとりに豊かにありますようにお祈り申し上げます。

日本カトリック司教協議会会長  
大阪大司教 レオ 池長 潤

### 新教皇フランシスコ

1936年12月17日 アルゼンチン・ブエノスアイレス生まれ(76歳)。  
1958年イエズス会入会。1969年司祭叙階。1992年ブエノスアイレス補佐司教。  
1998年ブエノスアイレス大司教。2001年ヨハネ・パウロ二世より枢機卿に叙任。